

## 種豚改良技術確立試験

三浦成見<sup>1</sup>，海老沢重雄<sup>2</sup>，相馬由和，大石 仁

Establishment of Improvement Technique for Breeding Swine

Narumi MIURA, Shigeo EBISAWA, Yoshikazu SOMA, Hitoshi OHISHI

### 要 約

現在の肥育豚は LW·D の三元交雑が中心となっており、その基礎となるランドレース種は非常に重要であり、高い繁殖能力、発育能力、優良な資質が求められている。

このため、優良なランドレース種豚を作出し、県内の養豚農家に種豚の配布及び精液の譲渡を行うとともに配布先農家の繁殖能力や産肉能力の情報を得ることにより広域的な改良増殖を図る。

平成 19 年度は 18 腹の分娩で子豚 157 頭を生産した。育成豚は 26 頭を払い下げし、精液は 19 頭分を譲渡した。

キーワード：ランドレース，改良増殖

### 緒 言

我が国へ最初にランドレース種が導入されたのは昭和 35 ~ 36 年である。まだ大型品種が普及していなかった当時は飼養管理の難しさや繁殖障害が多く出るなどの理由で敬遠されることもあったが、品種の特徴が理解されたことや高い産肉能力により急激に増加し、中ヨークシャー種やバークシャー種等の中型種からランドレース種をはじめとする大型種へ飼養形態が移行するさきがけとなった。その後、改良が進み日本に定着したランドレース種は三元交雑の基礎となる種雌豚として広く用いられるようになった。昭和 50 年代以降はデュロック種が止め雄として普及し、現在でも LW·D の三元交雑が肉豚全体の 8 割近くを占めている<sup>1)</sup>。

三元交雑におけるランドレース種の役割は F 1 母豚生産であり、基礎となる部分である。そのため、高い繁殖能力、産子の発育能力、強健性を子豚に伝えなければならない。

高い能力のランドレース種を増殖・配布することは、養豚経営の安定向上に大きな影響を与えるものと考えられる。

この試験は当研究所の外から優良な種豚や精液を

導入してさらに優れた種豚を作出し、それを県内の農家に払い下げることにより、広域的な改良効果を生み出すことを目的とする。

### 材料および方法

#### 1 供試材料

種豚改良に用いた種豚は以前から当所で飼養していたランドレース種と平成 15 年度に外部から導入したランドレース種。

基本計画としては常時、種雌豚 10 頭、種雄豚 2 頭を飼養し、これらの豚を用いて改良増殖を実施した。

#### 2 調査項目

##### 1) 繁殖成績

生産頭数、哺乳開始頭数、離乳頭数、離乳時育成率、生時体重、3 週齢体重

##### 2) 産肉成績

一日平均増体重、ロース断面積、背脂肪

##### 3 育成豚の選抜

検定成績、体型並びに肢蹄の状況等を考慮して行った。

##### 4 育成豚の払い下げ

7~8 ヶ月齢で行い、精液の払下げは、隨時実施した。

1 現 茨城県畜産センター

2 現 茨城県鉾田地域農業改良普及センター

### 結果および考察

繁殖成績については、18腹分娩し157頭の子豚を生産し、その内、哺乳開始頭数は145頭であった。離乳子豚数は139頭で育成率は95.9%であった。また、子豚の生時および3週齢時平均体重は、それぞれ $1.44 \pm 0.38$ kgと $6.17 \pm 1.38$ kgであった(表1)。

産肉成績については、現場直接検定により、雄3頭及び雌12頭を実施した(表2)。

雄3頭の直接検定成績の平均は、1日平均増体重は880.6g、ロース断面積は30.4cm<sup>2</sup>、背脂肪層の厚さは1.7cmであった。

雌12頭の直接検定成績の平均は、1日平均増体重は784.7g、ロース断面積は30.5cm<sup>2</sup>、背脂肪層の厚さは1.7cmであった。

育成豚は、県内の農家6戸に対し、計26頭(雌26頭)を払い下げた。精液は、農家7戸に19頭分を

譲渡した。

今回の成績は、当所における過去の成績と比較すると、産肉成績については、平均並みかやや低い傾向が見られた。繁殖成績のうち1腹当たり哺乳開始頭数は、全国平均<sup>2)</sup>では10.3頭、当所成績では8.06頭と、低い成績となった。それ以外については、良好な成績であった。今年度は、分娩後の圧死による事故が多くいたため、分娩前後の管理を留意するとともに、豚の能力と血統(系統)との関係を調査し、選抜改良を進める。

### 参考文献

- 1) 日本の養豚編集部, 2000, 本誌に見る養豚50年の歩み, 日本の養豚2000年1月号
- 2) 社団法人日本養豚協会 豚基礎調査全国集計結果, 平成17年度

表1 繁殖成績

分娩腹数	生産	哺乳開始	1腹当たり	離乳	育成率	生産子豚	3週齢時
	子豚数	頭数	哺乳開始頭数	子豚数		平均体重	平均体重
腹頭	頭	頭/腹	頭	%	kg	kg	kg
18	157	145	8.06	139	95.9	$1.44 \pm 0.38$	$6.17 \pm 1.38$

表2 産肉成績

項目	検定豚(雄)		検定豚(雌)	
	平成19年度	平成16~18年度平均	平成19年度	平成16~18年度平均
検定頭数	3	25	12	39
1日平均増体重(g)	$880.6 \pm 21.1$	$909.4 \pm 21.1$	$784.7 \pm 31.1$	$769.0 \pm 22.6$
ロース断面積(cm <sup>2</sup> )	$30.4 \pm 4.4$	$31.43 \pm 2.27$	$30.5 \pm 2.5$	$31.9 \pm 3.0$
背脂肪層の厚さ(cm)	$1.7 \pm 0.1$	$1.7 \pm 0.1$	$1.7 \pm 0.3$	$1.7 \pm 0.1$